

事 務 連 絡

平成23年5月26日

各 { 都道府県
保健所設置市
特別区 } 薬務所管部（局）薬務主管課 御中

厚生労働省医薬食品局
審査管理課化学物質安全対策室

「東北地方太平洋沖地震に伴う津波による毒物又は劇物の流出事故等に係る対応について」
における集計結果について

この度の東北地方太平洋沖地震に伴う津波により、事業者が保管等を行っている毒物又は劇物が事業所外へ流出するなどの事態が発生しています。このような事態を鑑み「東北地方太平洋沖地震に伴う津波による毒物又は劇物の流出事故等に係る対応について」（平成23年3月30日 事務連絡）において、管内の事業者に対する「業務体制の保持の確認」及び「毒物及び劇物の在庫状況等に係る調査」等をお願いしていたところです。

このたび、各自治体からご報告いただいた結果を集計しましたので、別添のとおりお知らせいたします（平成23年5月25日時点、当室把握分）。各自治体におかれては、震災対応で御多忙のなか、調査に御協力いただきありがとうございました。

今回の結果をふまえ、特定被災区域の各自治体にあつては、保健衛生上の危害を防止する観点から下記の点に御留意いただき、より一層適切な対応をお願いします。

記

1. 集計結果の概要

- (1) 毒物又は劇物の事業所外への流出状況については、事業所外への流出防止措置が有効に機能した事業所があった一方、施設設備が大きく破壊され事業所外に流出した事例も散見される。
- (2) 容器で販売又は保管されていた毒物又は劇物については、容器ごと、あるいは容器の保管庫ごと流出して、回収できていない事例が多く見られる。

2. 対応

- (1) 事業所外に流出した毒物又は劇物は、事業所周辺に存在する可能性が高く、また容器等からの漏洩等の可能性が考えられるため、特に事業所周辺においてがれき撤去作業等を行う時は、作業員等の安全確保と毒物及び劇物の適切な処理に留意すること。
- (2) 事業所から離れた場所であっても毒物又は劇物が存在する可能性があるため、周辺住民等がこれらを発見した時には速やかに保健所等に届け出るよう、引き続き周知に努めること。
- (3) 現時点で業務状況等を把握できていない管内の事業者に対して、可能な範囲で引き続き状況把握に努めること。また、毒物又は劇物が流出している事態等が判明した場合は、所有者たる事業者可能な範囲で回収させる等、引き続き速やかな措置を講じること。
- (4) 所有者のわからない毒物又は劇物を撤去・廃棄する必要がある時は、産業廃棄物行政主管部(局)と連携して産業廃棄物処理業者に廃棄を委託するなど、適切な措置を講じること。また、当該毒物又は劇物の一時保管については、保健衛生上の危害を防止する観点からその場所を選定すること。
- (5) 上記の対応等により得られた情報については、毒物又は劇物の処理が適切に行われるよう、必要に応じて引き続き警察、消防機関等に提供すること。
- (6) 毒物又は劇物等が流出し、不特定又は多数の者について保健衛生上の危害が生じるおそれのある事態が発生した場合は、引き続き速やかに厚生労働省に報告すること。

被害状況一覧(平成23年5月25日現在把握分)

自治体名 (*1)	被害の概要							流出品目、施設内漏洩品目、在庫品目(事業所ごと)(*4)(*5)	対応策、その他(事業所ごと)(*4)	
	調査対象の事業所数(各自治体管内)	業務体制			流出事故件数					
		保持されている(*2)	保持されていない	不明・その他	流出あり(*3)	流出なし	不明・その他(*2)			
北海道	1 (県内の業務上取扱者たる事業所のうち、調査済みの事業所)	1 (建物が一部破損)	0	0	1	0	0	流出品目:アクリルアミド(アクリルアミド)400kg(帆布様容器入り)	販売業。400kg×24個あった在庫が、3月13日に確認したところ23個しか残存していなかった。保管倉庫が一部破壊され、開口面から流出したものと推定。	
札幌										
函館										
旭川										
小樽										
青森	管内の事業所(被害なし)									
青森										
岩手	52 (津波により被害を受けた地域における毒物劇物営業者たる事業所のうち、連絡が取れた事業所)	31	7	14	27	6	14			
	(内訳)									
	大船渡保健所管内	27	17 (うち建物が全壊11、半壊4、床上浸水1、損壊状況不明1)	4 (うち建物が全壊4)	6 (うち建物が全壊5、半壊1)	24	1	2	流出品目:エルサン乳剤500ml×2、アドマイヤーフロアブル100ml×3、オンコル粒剤3kg×9、カルホス乳剤100cc×3、コテツフロアブル液剤100ml×2、スカウトフロアブル液剤100ml×2、ダイシストン粒剤1kg×10、ダイシストン粒剤3kg×13、ディブテレックス乳剤500cc×5、ディブテレックス乳剤100cc×3、バスアミド微粒剤10kg×2、パダン4粒剤3kg×2、ブリグロックSL液剤1L×17、モスピラン水和剤100g×9	販売業(ホームセンター)、建物は全壊
									流出品目:ディブテレックス乳剤100cc×6、ダイシストン粒剤3kg×8	販売業(農協)、建物は半壊
									流出品目:ダイシストン粒剤1kg×10	販売業(農協)、建物は全壊
									流出品目:ディブテレックス乳剤100cc×3、ダイシストン粒剤3kg×9	販売業(農協)、建物は半壊
									流出品目:カルホス乳剤100cc×2、ジェットVP50g×2、ディブテレックス乳剤100cc×15、ホスピット50乳剤100ml×12、ダイシストン粒剤3kg×1、モスピランジェット50×5×4、オンコル流剤5・500g×5、パーマチオン水和剤500g×4、マイクロデナボン水和剤500g×19、硫酸銅5kg×2、ピラニカEW100ml×5、ヤソジオン500g×43、アグロスリン乳剤100cc×6、エルサン水和剤40・500g×36、エルサン水和剤40・1kg×17、エルサン乳剤50・100cc×9、オンコル粒剤3kg×12、カルホス微粒剤F3kg×16、ダイアジノン水和剤34・500g×2、ダイシストン粒剤1kg×33、バイデートL粒剤3kg×5、バスアミド微粒剤1kg×3、ペフラン液剤25・500cc×7、ランネット45DF100g×3、ロブラール薫煙剤500g×1、アドマイヤー水和剤100g×12、アドマイヤーフロアブル100ml×2、ハチハチ乳剤100ml×4、モスピラン水溶剤250g×13、ホスピット50乳剤500ml×2、コテツフロアブル100ml×4、コテツフロアブル250ml×5、モスピラン水溶剤100g×38、ペフキノン水和剤1kg×6、フォース粒剤3kg×1、オリオン水和剤500g×7、ランダイヤ粒剤3kg×8、バリアード顆粒水和剤250g×1、ダースバンDF167g×15	販売業(農協)、建物は全壊
									流出品目:ダイシストン粒剤3kg×12、ヤソジオン500g×7、ダイアジノン水和剤34・500g×1	販売業(農協)、建物は全壊
									流出品目:ホスピット50乳剤100ml×4、ダイシストン粒剤3kg×7、アグロスリン乳剤100cc×8、モスピラン水溶剤100g×7	販売業(農協)、建物は全壊
									流出品目:ディブテレックス乳剤100cc×1、ダイシストン粒剤3kg×2、ヤソジオン500g×1、ダイシストン粒剤1kg×12	販売業(農協)、建物は全壊
									流出品目:ジェットVP50kg×1、ダイシストン粒剤3kg×8、ヤソジオン500g×1、オンコル粒剤3kg×5、モスピラン水溶剤100kg×1	販売業(農協)、建物は半壊
									流出品目:デゾレート1kg×? 施設内漏洩品目:デゾレート1kg×?	販売業(森林組合)、建物は半壊
流出品目:NaOH(苛性ソーダ)、KOH(苛性カリ)、HCl									販売業(商社)、建物は全壊	
流出品目:35%HCl20L×5	水産業(業務上取扱者)。住民→警察→保健所調査→指導という流れで事業者に指導がなされ、流出品目を回収・廃棄予定。									
流出品目:NaOH約1kg	路上に放置されており、持ち主不明。流出品目は、住民→警察→保健所調査→流出品目を回収・廃棄予定。									

自治体名 (*1)	被害の概要								流出品目、施設内漏洩品目、在庫品目(事業所ごと)(*4)(*5)	対応策、その他(事業所ごと)(*4)
	調査対象の事業所数(各自治体管内)	業務体制			流出事故件数					
		保持されている(*2)	保持されていない	不明・その他	流出あり(*3)	流出なし	不明・その他(*2)			
宮城									塩酸(流出等の状況は不明)	運送業(業務上取扱者)
									クロルスルホン酸、硫酸(流出等の状況は不明)	運送業(業務上取扱者)
									在庫品目:硫酸	運送業(業務上取扱者)
									在庫品目:クロルスルホン酸	運送業(業務上取扱者)
									硫酸(流出等の状況は不明)	運送業(業務上取扱者)
									水酸化ナトリウム、水酸化カリウム、塩酸、硫酸(流出等の状況は不明)	運送業(業務上取扱者)
	塩釜保健所	65	51	13	1	0	61	4	在庫品目:ホスフィン(リン化水素)、アルシン(ヒ化水素)、アンモニア、ジボラン、塩素	販売業。津波による事務所の被害が大きい。書類が流出した。地震当日の毒物劇物在庫状況は不明。現在、自主回収中。保管設備も被害を受けているため、回収した毒物劇物は県外の営業所に保管している。現在、電話がつかない状況。
										販売業。津波による事務所の被害が大きい。書類が流出した。地震当日の毒物劇物在庫状況は不明。現在、自主回収中。保管設備も被害を受けているため、回収した毒物劇物は県外の営業所に保管している。
	塩釜保健所岩沼支所	95	85	7	3	2	89	4	流出品目:高純度フッ化水素酸50% 25kg	商社。
									流出品目:DDVP(ジクロロボス)500mL 2本	農協。
									施設内漏洩品目:DDVP(ジクロロボス)500mL瓶 2本	農協。破損したが、処分済み
									流出品目:近隣農家からと思われる農薬(劇物)	農協で保管済み。
									施設内漏洩品目:シンナー	塗料店。缶が倒れ少量漏出したが、処理済み。
	塩釜保健所黒川支所	39	39	0	0	0	39	0		
栗原保健所	66	65	1	0	1	65	0	施設内漏洩品目:希硫酸、硫酸、苛性ソーダ	業務上取扱者。揺れにより少量の希硫酸が周囲に飛び散った。苛性ソーダと硫酸は、配管等の破損により一部流出したが、防波堤内に収まる。工場外への漏洩はなし。漏洩した劇物は吸着マット及び中和の措置により処理の予定。	
									高校(業務上取扱者)。現在、震災後の片付け中。保管している毒劇物全てを確認できている訳ではないため、今後漏れ、飛散があれば保健所へ連絡するとの回答あり。	
仙南保健所	88	87	0	1	0	87	1		震災前から閉店状態で、事業者と連絡が取れない状態。	
大崎保健所	146	139	5	2	0	144	2			
登米保健所	51	50	0	1	0	51	0		保管棚が倒壊したが、毒物劇物の漏洩はなし。現在は別の鍵のかかる場所を保管庫として使用。	
石巻保健所	27 (管内124事業所のうち調査済みの事業所)	24	1	2	0	24	3		一部が水没した。	
気仙沼保健所	44 (管内52事業所のうち調査済みの事業所)	14	29	1	10	10	24			

自治体名 (*1)	被害の概要						流出品目、施設内漏洩品目、在庫品目(事業所ごと)(*4)(*5)	対応策、その他(事業所ごと)(*4)	
	調査対象の事業所数(各自治体内)	業務体制			流出事故件数				
		保持されている(*2)	保持されていない	不明・その他	流出あり(*3)	流出なし			不明・その他(*2)
仙台	14 (津波により被害を受けた地域(仙台東部道路東側)のうち毒物劇物営業業者たる事業所)	7 (うち施設の被害もなかった事業所が7)	4	3	4				
秋田									
山形									
福島	85 (県内の業務上取扱者のうち、調査済みの事業所)	70 (うち建物が半壊2、一部損壊19、被害なし42、損壊状況不明7)	15 (うち建物が全壊1、一部損壊2、損壊状況不明12)		3	69 (うち施設内での漏洩等10)	13		
	(内訳)								
	県北保健所	8	7 (うち建物が一部損壊2、被害なし5)	1 (うち建物が一部損壊1)		0	8 (うち施設内での漏洩等1)	0	施設内漏洩品目:メッキ 業務場取扱者、建物は一部損壊。メッキ槽から流出した。量は不明。流出分は廃水タンクに貯蔵。自社及び産業廃棄物業者で処分。
	県中保健所	23	23 (うち建物が一部損壊9、被害なし14)	0	0	23 (うち施設内での漏洩等8)	0	施設内漏洩品目:25%苛性ソーダタンク 30m3、48%苛性ソーダタンク 30m3	製造業、建物は一部損壊。25%苛性ソーダタンクは、フランジ口内部のひび割れにより、にじんで白く変色する程度漏洩。48%苛性ソーダタンクは、底部ひび割れ及びフランジ口内部のひび割れにより、にじんで白く変色する程度漏洩。
								施設内漏洩品目:75%硫酸タンク 15m3	製造業、建物は一部損壊。入出荷ライン配管及びレベルゲージが破損(3箇所)。配管にたまっていた10L程度が防液艇内に漏洩。
								施設内漏洩品目:6価クロム溶液、シアン廃液、炭酸バリウム(製品)、塩化バリウム、水酸化バリウム、シュウ酸(原料)	製造業、建物は一部損壊。ブライト(金属被覆粉体)製造施設において、6価クロム溶液、シアン廃液が漏洩・流出。(6価クロム溶液が4kg程度、薬液溶液から製造室の床にこぼれたので、処理剤を用いて回収した。) 自動倉庫(製品・原料保管施設)において、炭酸バリウム(製品)、塩化バリウム、水酸化バリウム、シュウ酸(原料)が漏洩・飛散(保管ラックより製品(炭酸バリウム)が落下して破袋し、倉庫内へ50kg飛散したため回収した)
								施設内漏洩品目:ホスフィンガス(リン化水素)	製造業、建物の被害はなし。配管の継ぎ手部分より漏洩した。数量は不明。漏洩部分は除外装置にて処理し、施設外への漏洩はなし。
								施設内漏洩品目:ニッケルメッキ液、銀メッキ液、金メッキ液、はんだメッキ液、スズメッキ液	業務上取扱者、建物は一部損壊。地震により表面処理施設の側溝壁が一部亀裂損傷し、メッキ槽内液が地震の揺れで床に一部こぼれだし、側溝壁亀裂損傷した箇所から一部メッキ液が室外の側溝へ流出した。すぐに、緊急対応処置として、室外の側溝3地点に土嚢を積み上げて、敷地外流出防止を実施。その後、側溝内流出液をくみ上げ、産業廃棄物処理した。後日、側溝内を真水による洗浄を行い、汚染除去処理した。また、洗浄水と土嚢は産業廃棄物処理した。流出量の内訳は、ニッケルメッキ液約120L、銀メッキ液約30L、金メッキ液約20L、はんだメッキ液約60L、スズメッキ液約30L。
								施設内漏洩品目:シアン化金カリウム、硫酸、塩酸、次亜塩素酸ソーダ	業務上取扱者、建物の被害はなし。シアン化金カリウム、硫酸、塩酸等が合計約20L漏洩したが、薬液槽の受け皿に漏洩したのみであり、回収し廃棄した。次亜塩素酸ソーダは受け皿及び床に約84L漏洩したが、回収し廃棄した。施設内で留まった。
施設内漏洩品目:塩酸、苛性ソーダ 在庫品目:メッキ液	業務上取扱者、建物は一部損壊。塩酸及び苛性ソーダの供給タンクからの配管損傷により、塩酸は約30L、苛性ソーダは約50L漏洩した。排水溝をせき止めて散水し、中和処理した。施設内漏洩で留まった。								
施設内漏洩品目:シアン化金カリウム、硫酸	業務上取扱者、建物は一部損壊。地震の揺れにより、樽から微量漏洩した。								
県南保健所	4	4 (うち建物が半壊1、被害なし3)	0		0	4	0		

自治体名 (*1)	被害の概要						流出品目、施設内漏洩品目、在庫品目(事業所ごと)(*4)(*5)	対応策、その他(事業所ごと)(*4)
	調査対象の事業所数(各自治体管内)	業務体制			流出事故件数			
		保持されている(*2)	保持されていない	不明・その他	流出あり(*3)	流出なし	不明・その他(*2)	
下関								
徳島	管内の事業所(被害なし)							
香川								
高松								
愛媛								
松山								
高知								
高知	管内の事業所(被害なし)							
福岡								
北九州								
福岡								
久留米								
大牟田								
佐賀								
長崎								
長崎								
佐世保								
熊本								
熊本								
大分								
大分								
宮崎								
宮崎								
鹿児島	管内の事業所(被害なし)							
鹿児島								
沖縄								

注釈: (*1)太字は都道府県、細字は市区の自治体を示す
 (*2)「被害を受けているが業務は行っている」場合を含む(例:建物が半壊したため、事務所を移転して対応 等)
 (*3)事業所外部への流出のみを集計
 (*4)品目または対応策が報告された事業所についてのみ記載
 (*5)太字は、毒物及び劇物取締法における毒物を示す
 なお、空欄は自治体からの明確な報告がなされていないもの